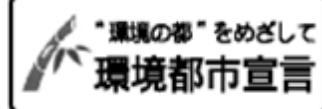


環境の都ニュース

2014. 1. 1 NO. 73



発行：長岡京市
環境の都づくり会議
発行責任者：江川 宗治
編集担当者：山本 雅夫

みなさまと共に更なるステップアップ・チャレンジを！

輝かしき平成26年の新春を迎え、みなさまと共にお祝いを申し上げます。

昨年は、多くの方々のご協力により京都第二外環状道路（愛称：にそと）の開通や阪急「西山天王山駅」の開業が成され、本市の更なる発展の基盤を築くことができました。7月には「八条ヶ池周辺地区」が都市景観大賞として国土交通大臣賞を受賞しました。

恵まれた水と緑の自然と都市の調和ある発展を次代へと継承して行かなければならないと心を新たにしております。

中でも地球環境問題としての温暖化現象は、世界の気候変動に大きく影響する時代となっており、昨年の台風18号や30号等での甚大な被害状況は、そのことを想起させるものであり、今も記憶に鮮明に残っています。

これらの状況を目にする時、私は、個人の力の限界を感じるとともにその個人の知恵と力と想像力の結集が如何に必要不可欠であるかを痛感します。“think globally, act locally”（地球規模で考え、地域から行動を）といわれるように、地球規模の環境問題であっても、その原因や解決策は、私たち一人ひとりの生活が密接に絡み合い影響しています。そのためにも私たち一人ひとりが、持続可能な社会の実現を目指して、地域に根差した取り組みを進めていくことが大切です。

長岡京市は、Do you think and act Eco NAGAOKAKYU?（環境にいいことしてますか?）を掲げ、平成21年4月に行った“環境の都”長岡京市環境都市宣言にある市民と企業と諸団体と行政が協働して環境都市の実現を目指しています。そして、昨年3月には長岡京市第二期環境基本計画を策定し、行政計画としての行政施策の取り組みと市民の自主的な活動を行政が支援し、発展させていこうとする「ステップアップ・チャレンジ」の取り組みがスタートしています。

これからもみなさまと手を携え、私たちの長岡京市が“古の都”から“環境の都”となることを目指して邁進していきたいと思えます。

この一年も皆様にとって幸多き前進の年になりますことを祈念申し上げます。

平成26年1月元旦

長岡京市長 小田 豊



八条ヶ池周辺の全景



竹林再生 PJT



竹チップからの竹炭化成功

今まで念願であったチップの竹炭化を何回かの失敗を繰り返し、やっと完成することに成功しました。今後は継続的に製品化し、適正な価格にすることへの挑戦です。今回はまず竹をチップ化して竹炭焼と同じ条件で炭化したことです。多分長岡京ではまだ誰もやっていないと思われます。チップは直径5ミリ以下の大きさですから用途拡大が出来ると思います。例えば竹炭には色々と効能がありますが、チップ化することで土にブレンドし易くなり肥料や土壌改良剤として普通の炭以上に効果を発揮し、農作物の育成に大きく効果を出すことが期待できます。(写真左) 5ミリの大きさの網目で選別しましたが網目から少し長い物が抜けています。

竹林再生PJT 小根田



12/14(土)竹切りの体験を子供達にしてもらいました。実際にのこぎりで竹を切った子供達の感想は「思っていたより竹が硬くなかなか切れなかったこと」です。竹林での作業が大変なことと初めて知ったようです。(写真右)

竹林再生PJT 湯川(圭)

竹林再生PJT、この一年を振り返って

今年も以下の通り月毎に充実した活動が出来ました。

- 4月：子供たち向け筍掘体験を通して、地産地消の推進と環境保全を学習。
4/13 第六小、4/17 ゆりかご保育園、4/20 長法寺小、
4/27 第四小、4/28 古市町区子供会

5月：親竹の育成と更新、及び竹林内雑草刈り

6月：金ケ原竹林の憩いの森づくり

7月：長岡天神竹林整備(落ち葉の集積場メンテ、堆肥づくり、間引き作業)

8月：10月開催の『竹あそび』基本構想に基づき、当PJTのテーマ等詳細検討の実施。月末頃より竹灯り用竹材の切出しなどの作業を開始。また、自己

資金づくりの一環として、花瓶用竹ポットの受注活動が結実し、『リバティ』に月間30~40本の納品を開始する。

9月：金ケ原憩いの森へ、『花にしき』女性の会の19名の見学会を実施。この行事を契機に、竹林作業、花いっぱい活動への新メンバーの参加。また、竹チップや竹炭の購入につながるなどPJTに新しい風が吹き込んだ。

10月：12日の『竹あそび』当日は、チップの道、お玉ちゃん灯籠、竹の茅の輪の他、600本の灯火用竹ポット、竹ポットによる大文字など、全員の知恵と熱意で大成功を収める。

11~12月：河合竹林の竹のフェンスを3年ぶりに一部更新、美観を回復。また、12/16には本年納めの忘年会を竹林再生PJT、ビオトープPJT、花いっぱいPJT合同で実施。メンバーの健康と更なる結束を誓い合い、和気あいあいの内にお開きとなりました。

*年明けは1/14(火)仕事始め。当日は河合竹林で自前の新年会を実施。その後、1/20、2/3、2/17、3/3、3/17の毎月第1、第3月曜に作業を行います。
今年の収穫は、①新会員2名の入会や女性の会との交流によるPJT戦力のアップ、②竹チップ、竹ポットなどの販売による自前の収入源の道を作ったことなど新しい動きができたことです。これによって、当PJTも活動の基盤が徐々に強化して参りました。来年に向けては、PJT活動の維持と体制の若返りを図るべく、50才、60才台の入会者を募って参ります。本活動に関心のある方、是非ともご協力をお願い致します。 竹林再生PJT 渡辺

竹ポットによる大文字(竹あそびにて)



ビオトープ PJT



11/16(土)河合竹林で第六小のすくすく教室の子供達19名に竹炭焼体験をしてもらいました。竹切りの体験、窯から炭の取り出し、工程を廻る間に新聞紙の折り紙でカブト作りをしました。

(写真右)窯から出した炭は子供達は初めての経験だけに皆真剣に聞き入っていました。

ビオトープPJT 小根田

長法寺小すくすく教室：竹炭体験

12/14(土)長法寺小の子供達4名(当初8名の予定)の竹炭焼体験の勉強会を河合竹林で実施しました。朝は今年一番の冷え込みで、寒い日となりました。今日は焚き火が最高のおもてなしとなりました。子供達は竹切りの体験、竹炭窯での炭の取り出し、新聞紙のカブト作り等をして元気よく遊びました。(写真は左)

ビオトープPJT 小根田





エスリード長岡天神「クリスマスリースづくりの集い」

2013年 12月1日(日) 13:00~15:00

エスリード長岡天神1F マンション集会コーナー

参加者 13世帯 14名(子供1名 中学生1名 大人12名)
里山スタッフ 2名

今年で4回目、エスリード自治会行事として夏の工作教室とともに楽しみにされている方も多く、好評の企画として定着してきました。

最初に西山の現状、鹿の害、ナラ枯れ、台風の被害の様子や材料の説明などを行いました。参加者からは、近くの山の様子や現状を知る事ができた。また用意の材料はお金では買えない。個人では調達しにくい。価値のある贅沢なものが使えて嬉しいとの感想をいただきました。出来上がった作品を皆で鑑賞し合ったあと、一部の作品をマンションエントランスやエレベーター脇に飾って皆さんに見て頂けるように展示しました。写真右上はマンションエントランスに飾られたリース。里山再生PJTからの提供材料は「ふじつるなどのリース、月桂樹の葉、ノイバラ、クヌギ(加工品) サワグルミ(加工品)、マツボックリ、アメリカフー、ナンキンハゼ、ツバキの実、センダンの実、ガラングランの実、カラスウリ、シャリンバイ」



里山再生PJT 加藤



京都環境フェスティバルに竹でつくったシカを展示

期日: 12月14日(土) 15日(日)

場所: 京都パルスプラザ

里山再生PJTでは、竹と竹の皮でつくったシカを展示。シカが増えすぎて困っている現状やシカクイズを実施し、シカの生態を知ってもらうようにしました。

シカのメスの寿命は8年ぐらいといわれていますが、2才ぐらいから毎年子どもを1匹生み、4~5年で群れは倍になると言われています。里山工作として、ミニクリスマスツリー、ジュズダマブレスレット、木の輪切りペンダント、木の枝ペンダントづくりを行いました。(写真左; 展示した竹のシカ)

里山再生PJT 加藤



「京都環境フェスティバル2013」に出展。

12月14日(土)~15日(日)に、京都市伏見区にある京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)で開催されました「京都環境フェスティバル 2013」に、使用

済み牛乳パックを使用した「紙漉きはがき」の作成や、「ぶんぶんゴマ」の工作、「ハノイの塔」(写真参照)を出展し、来場者でブースがいっぱいになるほど賑わいました。「紙漉きはがき」では、冷たい水を気にされる様子も



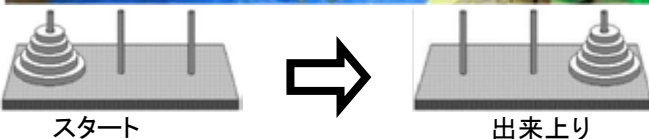
写真1

2013/12/15



写真2

2013/12/15



なく取り組んでいただき、昨年に続き今年も大変人気がありました。「ぶんぶんゴマ」は主に小学校の1年生から6年生までの児童に楽しんでもらいました。わが子が目をつむって回せるようになり、ご両親も大感激でした。長岡京市内でのソーラーパネルの設置場所や、使用済み廃食用油の回収拠点などを記した、大きな「長岡京市環境マップ」を展示し、関心を持たれる方がたくさんおられました。これからも「長岡京市環境の都づくり会議」をより深く知ってもらえるよう工夫した出展をしたいと思います。

写真1(紙漉き)「牛乳パックの紙をほぐした水を、網のすくついた木の枠で掬います」
写真2(ハノイの塔)「大きい輪が上にならないように動かしながら、すべての輪を移動させます」

主催：長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館
 後援：長岡京市 京都府地域力再生活動

第71回 環境教育ミーティング
 (平成25年度のテーマ：環境とエネルギー)

入場無料

企業の環境への取り組み



お話の内容

村田製作所では、グループ全体で環境に対する改善活動に取り組んでいます。その内容を、一般の方にも分かりやすく、実体験も交えてご紹介させていただきます。また、その中の活動の一つである「ムラタの森」森林保全活動は今年で6年を迎えました。当初から携わっていた担当者としての森への想いもお話いたします。

感想をお寄せ下さい

プロジェクトリーダー：西村日出男
 Fax：075-952-3718
sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp

日時：平成26年 1月16日(木) 夜7~9時

会場：長岡京市立中央公民館 2階・講座室

講師：中田 佳代さん

講師のプロフィール



天王山のみもとで生まれ育ち、幼少期の遊び場はもっぱら天王山と淀川の河川敷。
 大学では土木工学を専攻したが、縁があり地元の大村田製作所に入社。
 2001~2009年7月
 環境部ファシリティ課に配属。建設、車両、危険物管理業務等を担当。
 2009年8月~
 同部環境推進課に異動し現在に至る。主に環境マネジメントシステム、環境社会貢献活動を担当。

トピックス

「環境の都ニュース」が京都府立総合資料館に所蔵されています！

当会の隔月発行情報紙「環境の都ニュース」が2002年1月発行のNo.1から最新号まで、京都府立総合資料館（京都市左京区下鴨半木町1-4）に所蔵されています。同館文献課からの連絡で2009年から資料の送付が出来ていなかったことが判り、先般補充送付しました。何か必要の際には同館へ行けば「環境の都ニュース」の初期のものや、府内各種団体の刊行物等もご覧いただける可能性があります。所蔵されている資料は下記ホームページの「図書検索」から検索することができます。 <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内容	連絡先	T E L
里山再生PJT	里山再生	加藤 克巳	951-0933
環境教育PJT	環境教育	西村 日出男	952-3718 FAXも同じ
		E mail : sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp	
エコチームPJT	地球温暖化防止	田原 誠一郎	953-1696
ピオトープPJT	ピオトープ	小根田 勝信	957-4081
花を咲かそうPJT	花を咲かそう	湯川 智子	952-5505
竹林再生PJT	竹林再生	湯川 圭造	090-8759-1757
環境の都づくり会議 代表	活動全般	江川 宗治	957-6169 FAXも同じ
		E mail : egawam@kyoto.zaq.ne.jp	

事務所：多世代交流ふれあいセンター内 (〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1)

環境の都づくり会議のホームページを作りました。各PJTの活動内容と写真などが有ります。是非ご覧ください。
 アドレス= <http://kankyonomiyako.jimdo.com/>

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。協賛金：一口年間1000円（一口以上） あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは上記プロジェクトの連絡先へ下さい。

編集後記：日本のCO2削減目標が少し後退。元々高すぎた目標と原発依存の回避から妥当かなと感じました。CO2削減は大きな指標ですが、その他の身の周りの事象全てが環境で、バランスと優先順位は都度変化します。新年も、出来る事から取組んでいきたいと思ひます。